



**2013年3月期(117期)  
決算説明会資料**

**2013年5月14日  
グンゼ株式会社**

# 説明内容

---

1. 2012年度実績
2. 2013年度計画
3. セグメント別2012年度総括と2013年度計画

# 1-1. 連結業績 2012年度(2013年3月期)

## 連結業績

単位:百万円、%

	2011年度 (12/3期)	2012年度 (13/3期)	対前年		公表	公表 増減額	利益率	
			増減額	増減率			2011年度 (12/3期)	2012年度 (13/3期)
売上高	136,621	132,373	△ 4,248	△3.1	133,500	△1,127	-	-
営業利益	1,023	1,710	686	67.2	1,600	110	0.7	1.3
経常利益	975	2,328	1,352	138.8	1,900	428	0.7	1.8
当期純利益	571	-1,161	△ 1,732	-	-1,900	739	0.4	-

※公表・・・2013年2月5日に発表した「2013年3月期 第3四半期決算短信」の数値

## 1-2. 2012年度のポイント

- アパレル事業での原価改善などにより、営業利益・経常利益は増益
- 電子部品分野の固定資産減損損失の計上で純利益は赤字

### 機能ソリューション事業

(億円)	対前年	主な要因
売上高	△20	◆プラスチック：平板収縮フィルムは市場全体の縮小で苦戦も、野菜向け防曇フィルムや産業資材分野向けフィルムなどが堅調 ◆エンブラ：OA部材は苦戦するも、一般産業用途が伸長 ◆電子部品：Windows8搭載ノートPCやAIOの受注に注力するも次年度にずれ込み、当期経営貢献に至らず ※AIO：All In Oneパソコン
営業利益	△8	

### アパレル事業

(億円)	対前年	主な要因
売上高	△30	◆インナー：ボディワイルドは新商品展開により伸長。主力のベーシック商品は引き続き苦戦。原価改善や固定費削減で収益改善 ◆レッグ：プレーンストッキングや機能商品が牽引
営業利益	12	

### ライフクリエイト事業

(億円)	対前年	主な要因
売上高	4	◆不動産関連：つかしん（にしまち）のリニューアル効果により売上・来街者とも好調 ◆スポーツクラブ：新店効果・サービス充実により堅調
営業利益	1	

## 1-3. セグメント別 売上高・営業利益

(単位:百万円/%)	売上高				営業利益			
	2011年度 (12/3期) 年間実績	2012年度 (13/3期) 年間実績	対前年		2011年度 (12/3期) 年間実績	2012年度 (13/3期) 年間実績	対前年	
			増減額	増減率			増減額	増減率
機能ソリューション	51,500	49,538	△ 1,962	△3.8	3,587	2,813	△ 774	△21.6
アパレル	72,948	69,991	△ 2,957	△4.1	192	1,393	1,201	625.5
ライフクリエイト	13,424	13,867	443	3.3	920	1,044	124	13.5
小計	137,873	133,397	△ 4,476	△3.2	4,700	5,251	551	11.7
全社・消去	-1,252	-1,024	228	-	-3,677	-3,540	137	-
合計	136,621	132,373	△ 4,248	△3.1	1,023	1,710	686	67.2

## 1-4. 特別損益

(単位:百万円)

	2011年度 (12/3期) 年間実績	2012年度 (13/3期) 年間実績	増減
退職給付数理差異償却	-2,492	-2,601	△ 109
退職給付信託設定益	4,076	1,941	△ 2,135
退職給付関連計	1,583	-659	△ 2,242
固定資産売却益	81	86	5
固定資産売却及び除却損	-166	-278	△ 112
固定資産処分関連計	-84	-191	△ 107
減損損失	0	-2,683	△ 2,683
その他特別損益	-158	-138	20
特別損益合計	1,339	-3,673	△ 5,012

退職給付数理差異  
(5年間償却)

(単位:百万円)

2007年度発生分	-1,159
2008年度発生分	-1,521
2009年度発生分	433
2010年度発生分	-240
2011年度発生分	-108

# 1-5. 貸借対照表及びキャッシュフロー

## 貸借対照表

	2011年度 (12/3期)	2012年度 (13/3期)	増減
単位:百万円			
流動資産	75,392	73,454	△1,937
棚卸資産	35,563	33,985	△1,577
固定資産	93,125	89,873	△3,251
有形固定資産	68,746	65,304	△3,442
資産合計	168,517	163,328	△5,188
流動負債	43,344	36,086	△7,257
固定負債	14,975	18,495	3,520
負債合計	58,319	54,582	△3,736
株主資本	111,752	109,233	△2,519
純資産合計	110,197	108,745	△1,451
負債及び純資産合計	168,517	163,328	△5,188

資産合計  
△5,188

■棚卸資産減少	: △1,578
機能S	△ 580
アパレル	△1,032
■固定資産減少	: △3,251
電子部品減損	△2,683

負債合計  
△3,736

■商業ペーパー	: △7,800
■長短期借入金	: 4,684

純資産合計  
△1,451

■利益剰余金	: △2,555
■為替換算調整勘定	: 1,320

CFの  
主要内容

■営業活動	・ 減価償却費	7,587
	・ たな卸資産減	2,601
■投資活動	・ 固定資産取得	-6,013
■財務活動	・ 借入金減	-3,664
	・ 配当金支払	-1,430

## キャッシュフロー

	2011年度 (12/3期)	2012年度 (13/3期)
単位:百万円		
営業活動	-1,417	12,343
投資活動	-7,780	-7,564
FCF	-9,198	4,778
財務活動	8,373	-5,100

## 経営指標

	2011年度	2012年度	増減
自己資本比率(%)	64.7	65.9	1.2
EPS(円)	2.96	△6.06	△9.02
BPS(円)	568.89	561.35	△7.54

## 2-1. 2013年度 経営方針

『疾風勁草』を行動の原点とし  
全員の心と力を結集して グンゼの底力を発揮しよう

### 成長確保

- (1) 成長商品、成長市場に経営資源を積極投入し、スピードをあげて経営に貢献させる
- (2) お客様の「こちよさ」を実現する新商品・新サービスを創出する

### 体質強化

- (1) お客様への提供価値とコスト構造を見直し、成熟した主力事業・主力商品を再生する
- (2) 前例主義打破と優先順位の明確化により業務のあり方を抜本的に見直し、業務効率と業務品質を向上させる

### 経営基盤強化

- (1) 三現主義とCFA活動により課題解決力を向上させる
- (2) 「明るく楽しく元気よい」職場づくりで、従業員満足度を高める

## 2-2. 連結業績予想

(単位:百万円/%)

	2012年度 (13/3期) 実績	2013年度 (14/3期) 計画	対前年		利益率	
			増減額	増減率	2012 年度	2013 年度
売上高	132,373	139,000	6,627	5.0	-	-
営業利益	1,710	3,000	1,290	75.4	1.3	2.2
経常利益	2,328	2,900	572	24.6	1.8	2.1
当期純利益	-1,161	1,500	2,661	-	-	1.1

## 2-3. セグメント別 売上高・営業利益

(単位:百万円/%)

	売上高				営業利益			
	2012年度 (13/3期) 実績	2013年度 (14/3期) 計画	対前年		2012年度 (13/3期) 実績	2013年度 (14/3期) 計画	対前年	
			増減額	増減率			増減額	増減率
機能ソリューション	49,538	56,100	6,562	13.2	2,813	5,000	2,188	77.8
アパレル	69,991	69,900	△ 91	△ 0.1	1,393	100	△ 1,293	△ 92.8
ライフクリエイト	13,867	14,000	133	1.0	1,044	1,200	156	14.9
セグメント計	133,397	140,000	6,603	4.9	5,251	6,300	1,049	20.0
全社・消去	-1,024	-1,000	24		-3,540	-3,300	240	
合計	132,373	139,000	6,627	5.0	1,710	3,000	1,290	75.4

## 2-4. 設備投資と減価償却費

### 設備投資

単位:百万円

	2011年度 (12/3期) 実績	2012年度 (13/3期) 実績	2013年度 (14/3期) 計画
機能ソリューション	9,097	3,735	4,900
アパレル	1,191	916	1,000
ライフクリエイト	1,423	1,932	2,400
本社他	356	346	1,300
合計	12,069	6,930	9,600

電子部品 2,100  
プラスチック 1,300

太陽光発電 1,700

※固定資産編入ベース

### 減価償却費

単位:百万円

	2011年度 (12/3期) 実績	2012年度 (13/3期) 実績	2013年度 (14/3期) 計画
機能ソリューション	3,993	3,784	3,000
アパレル	1,966	1,635	1,200
ライフクリエイト	1,369	1,408	1,400
本社他	841	759	800
合計	8,171	7,587	6,400

# 3.セグメント別2012年度総括と2013年度計画

## 3-1. 電子部品

Windows8搭載ノートPCやAIOの受注に注力するも次年度にずれ込み、当期経営貢献に至らず

外部  
環境

スマートフォン・タブレット市場の拡大

Apple iPad mini フィルムPCAP化

アマゾンKindle Fireによる低価格化

Windows8・ウルトラブック・AIOの拡大

細線技術の狭配線化対応

※ PCAP:透過型静電容量タッチパネル

2012  
年度  
総括

- 〈 上期 〉 ・ タブレット市場での特定機種集中による日系メーカーの苦戦で受注減
- 〈 下期 〉 ・ Windows8搭載向けノートPCの立ち上がり遅れ
- ・ ウルトラブック、AIO ( All In One ) PC向けにフィルムPCAP受注獲得

2013  
年度  
計画

〈 販売戦略 〉

- ・ ノートPC市場 → AFP ( ALL Film PCAP ) の量産化  
→ 安定販路の確保  
( 日系PCメーカーへの深耕と海外メーカーとの協業 )
- ・ AIO ( All In One ) PC市場 → 安定量産技術確立による新市場での拡販
- ・ スマートフォン市場 → 中国ローカルPCAPメーカーへの半製品拡販

〈 生産戦略 〉

- ・ ITOフィルム増産のため、スパッタ機増設(日本・台湾) → 2014年度時点で生産能力倍増予定

AFPの特長

- ・ 薄型、軽量、安価、Windows8対応
- ・ intelが新技術としてIDFにて紹介 (4月北京)  
IDF: Intel Developer Forum

## 3-2. プラスチックカンパニー

平板収縮フィルムは市場全体の縮小で苦戦も、防曇フィルムや産業資材分野向けフィルムが堅調

外部  
環境

平板収縮フィルム市場の縮小

電力価格問題

原料樹脂価格の高騰

海外安価品の流入

価格競争の激化

2012年度  
総括

- 平板収縮フィルム … 加温飲料の伸長とトレタリー等新規開拓によりシェア微増も市場縮小で苦戦
- OPPフィルム … 野菜包装向け防曇フィルムは堅調
- 複合ナイロンフィルム … 震災の影響により流通在庫過多のため低調
- 多層シート … 産業資材分野でユーザーニーズへの対応強化により堅調
- 海外事業 … 米国は平板収縮フィルムが堅調  
中国はOPSが内需・輸出ともに堅調。欧州子会社を売却

### 主力商品の再生と経営資源の集中投下

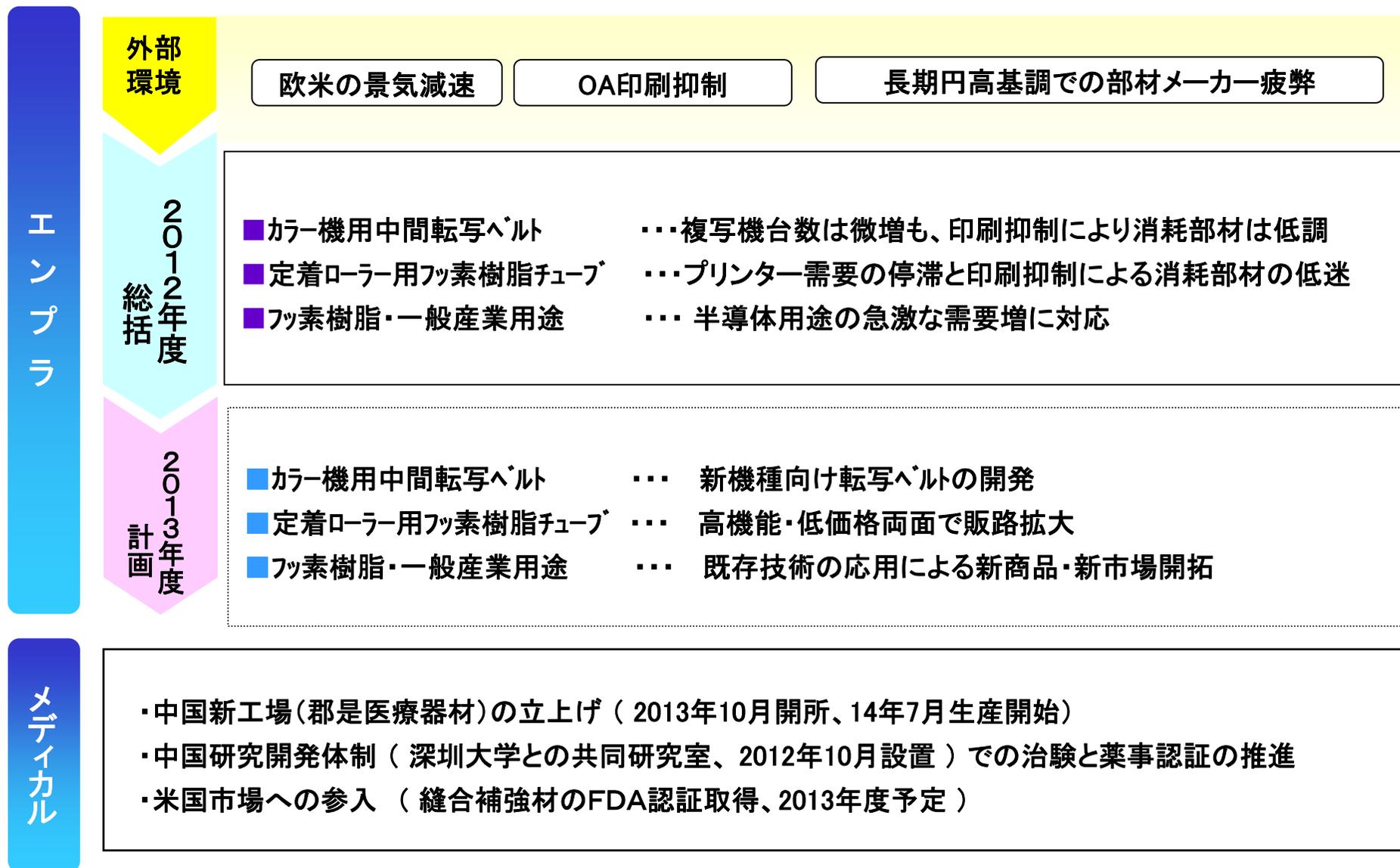
- 〈 国内事業 〉 ・ 平板収縮フィルム … 国内市場へのハイブリッド<sup>®</sup> 拡販 (トレタリー等非飲料)
- ・ OPPフィルム … もやし・カット野菜など防曇市場での差異化商品開発
- ・ 複合ナイロンフィルム … ハイブリッド<sup>®</sup> ナイロンフィルムの拡販 (レトルト・トレタリー)
- ・ 多層シート … 産業資材分野での拡販
- 〈 海外事業 〉 ・ 米国 … 平板ハイブリッド<sup>®</sup> 商品 (トレタリー向けなど) の拡販
- ・ 中国 … 食品包装ラップフィルムの増販に伴う生産能力アップ

ハイブリッド<sup>®</sup>  
の拡販

2013年度  
計画

### 3-3. インフラ・メディカル

インフラ: OA部材は苦戦するも、一般産業用途が伸長 ・ メディカル: 中国対応強化



## 3-4. インナーウェア

ボディワイルドは新商品展開により伸長。ベーシック商品は引き続き苦戦

原価改善や固定費削減で収益改善

外部  
環境

SPA業態の伸長加速

機能性インナーの供給過剰

PBの拡大・同質化/NBのシェア減少

海外労務費を含むコストアップ

綿製品への回帰傾向

新用途(スポーツ・ウエルネス等)市場拡大

2012年度  
総括

- 〈 商品・販売面 〉
- ・ 快適工房を中心にベーシック商品が引き続き苦戦
  - ・ BODY WILDはミドル層を狙った新商品展開により伸長
  - ・ ミドル、シニア市場に向けた商品の充実 (BODY WILD-EX・GRANDFIT・KIREILABO)
- 〈 生産面 〉
- ・ 原価改善と固定費削減による収益性向上

### 増販を前提としない利益体質への転換

- 〈 構造改革 〉
- ・ 国内工場機能の集約と海外シフト
  - ・ 商品特性に合致した適時適量生産と生産性向上の仕組みづくり
  - ・ 不採算店舗・売場コーナーの業態転換
- 〈 成長戦略 〉
- ・ 基幹ブランドへの集中によるブランド力強化
  - ・ eコマースを始めとする BtoC 販売 及び中国・アセアン販売拡大

### 〈 当面の懸案事項 〉

- ・ 円安及び労務費アップによる輸入品のコストアップ
- ・ 綿糸等原材料、資材価格の上昇
- ・ 消費増税の影響
  - ① 消費マインドの低下
  - ② 下代引下げへの要求
  - ③ 価格表示変更に伴う臨時費用

2013年度  
計画

## 3-5. レッグウェア

### プレーンストッキングや機能商品が牽引

外部  
環境

トレンド商品(レギンス・柄物)が失速

機能・実用商品 志向

節電意識の定着

新用途(スポーツ・ウエルネス等)市場拡大

2012  
年度  
総括

- プレーンストッキング → ストッキングトレンドの需要回復
- 機能性商品 → 着圧機能アイテム、ミカ・クロスト、秋冬期は厚手商品が伸長
- ソックス → 節電関連でルームソックス・シューズなど「うちエコ」商品が好調
- トレンド → 柄パンスト、レギンスブームが終息しレギンスパンツなどが拡大

2013  
年度  
計画

- 〈 販売戦略 〉
  - ・ドラッグストアや病院ルートの販売強化
  - ・大手流通PBとの取り組み拡大
  - ・残暑対策商品など気温変動への対応強化
- 〈 海外戦略 〉
  - ・インドネシアでのソックス生産能力倍増
  - 自社工場の増強と合併会社設立( 2013年7月操業 )
  - 2014年度 1,000万足体制



PT.RICKY GUNZE 建物外観

# 3-6. ライフクリエイト事業<不動産・スポーツクラブ>

不動産関連分野 ←

→ スポーツクラブ分野

外部環境

消費の低迷

競争激化

スポーツ・ウェルネスニーズ

少子高齢化

エネルギーコストの上昇

メニュー・プログラムの多様化

健康志向

不動産関連分野

2012年度  
総括

- < テナントビジネス >
  - ・つかしん（にしまち）リニューアルオープン（2012年10月）
- < 環境ビジネス >
  - ・中国に省エネビジネスの新会社設立（2012年11月）

2013年度  
計画

- < テナントビジネス >
  - ・遊休不動産の開発（津山 2013年11月開店予定）
- < 環境ビジネス >
  - ・太陽光発電事業への参入（2013年下期より順次稼働予定）



省エネ支援事業

スポーツクラブ分野

2012年度  
総括

- ・都市型新規店舗出店
  - 京都店（2012年4月）
  - 神戸店（2012年8月）

2013年度  
計画

- ・新メニュー&プログラム導入による新会員の獲得



神戸店でのランニング教室

ご清聴ありがとうございました。



本資料のうち、業績見通し等に記載されている内容は、  
現在入手可能な情報による判断に基づいたものであり、  
記載された将来の計画数値、施策を保証するものではありません。

本資料は、2013年5月14日に公表した「2013年3月期 決算短信」に基づくものです。